

研究所だより

くろしお

発行:黒潮町教育研究所

幡多郡黒潮町佐賀1092番地1(黒潮町教育委員会内)

TEL 0880-55-3190 Fax 0880-55-3850

Email: kuroshio-l@kochinet.ed.jp

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kuroshio-l/>

研究所だより「くろしお」創刊

遅ればせながら、黒潮町教育研究所だよりを発行することになりました。教育研究所の活動や、学力向上・生徒指導に関する情報を発信していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

黒潮町教育研究所のメンバー自己紹介

かねことみた
 所長(教育次長) 金子富太

今年の8月から教育次長として配属となり、研究所長を兼務することになりました。これまで教育関係の職場には携わっていませんでしたので、すごく新鮮な気持ちと不安が同居していますが、実務は頼れる研究員やSSWが行いますので、皆さんは安心してください。

研究所では、「学力向上」や「生徒指導」を主体に、その他の事業についても取り組んでいます。これらの事業をお知らせするホームページの開設を、12月中を目途に行う予定ですので、研究所の事業で何かお気づきのことや提案があれば、メールなりでご連絡いただければ幸いです。

教育の経験は有りませんが、これから実践の場で学んでいきたいと思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。

いけうえ
 研究員(入野小 教諭) 池上 みどり

今年の4月から、研究所に配属となりました。研究所の仕事は、主に「学力向上」と「生徒指導」です。その中で、今年度は、研究テーマを、「小・中学校における学力向上、小学校外国語活動」としました。生活実態アンケートの集計・分析、また、標準学力調査、全国学力学習状況調査、力だめしテストの集計・分析を通して、黒潮町の子どもの実態をつかみ、テーマに関係した研修会等で学習したことを活かして、黒潮町の子どもの課題を解決する方策を提案するのが仕事です。小学校外国語活動は、金曜日午前中入野小学校に出向き研究させていただいています。「生徒指導」については主に火曜日午前中に教育相談所(くじら一む)で子どもたちに関わり教育相談員と情報交換をしています。今月、研究所だより「くろしお」が創刊となり、12月中をめどに、研究所のホームページもアップする予定です。皆様のお役に立てる研究所を目指し、頑張っていきますのでどうかよろしくお願ひします。

スクール ソーシャル ワーカー まつだ まき
 S S W 松田 真紀

H20年度から「SSW 活用事業」の実施により、黒潮町教育研究所に配置されています。「スクールソーシャルワーカー」とは、学校現場に福祉の視点を取り入れ、子どもの抱える様々な問題に対して、家庭や地域、友人関係など、あらゆる視点で見極め、子どもや家庭へのアプローチはもちろん、関係機関との連携や調整を含めながら教育相談や問題解決のコーディネーター的役割をしています。子どもや家庭に対する相談活動等を通して適切なアセスメントを行い、「誰が誰にどんな支援を」と具体的にプランニングしていきます。生活の視点で環境をとらえ、時には子どもの代弁を、時には学校の代弁を・・・と、代弁機能の役割をしながら、決して「状況の放置」「担任まかせ」「家庭まかせ」にせず、重要性和緊急性を判断しながら「困難さ」に対する多様な支援へとつなげていきます。町内の小中学校を訪問しながら保護者の方からの思いを伺いながらの活動です。学校だけで考えるのではなく家庭だけで悩むのではなく、どうぞお気軽にご活用ください。よろしくお願ひします。

「研究所って何してるところ？」と、よくきかれます。

黒潮町教育研究所は平成18年3月にできました。まだ5年目のとても若い研究所なのです。教育次長が所長を兼務し、研究員1名、SSW1名という体制で業務を行っています。仕事は以下のとおりです。

研究所はこんな仕事をしています。

平成22年度 黒潮町教育研究所の取組

【重点施策】

- 1 学力の向上
- 2 黒潮町教育研究会との連携
- 3 児童生徒の健全育成
- 4 いじめや不登校、虐待等に関わる調査・援助
- 5 学校・家庭・地域・各機関との連携



【重点施策の具体的な取組】

- 1 学力の向上
 - ①到達度把握検査(標準学力調査)の分析と活用
 - ・結果については黒潮町教育研究会夏期研修会で報告
 - ②全国学力・学習状況調査の分析と活用
 - ・委員会用、各学校配布用を作成
 - ・抽出については9月の町校長会、抽出＋希望については、10月の町校長会、11月の学力向上委員会で報告
 - ③力だめしテストの分析と活用
 - ・12月実施、結果については1月の学力向上委員会で報告
 - ④学力向上委員会(研究主任会)の活性・充実を図る(年間5回を予定)
 - ・メンバー(各校研究主任、町教研会長、理事長、研修指導員、研究員)
 - ・各種テスト結果から黒潮町の実態を報告
 - ・小中共通の課題について取り組む
 - ・小中連携
- 2 黒潮町教育研究会との連携
 - ①黒潮町教育研究会との連携を図る
 - ・黒潮町教育研究会理事会に出席、1－④の報告連絡
 - ・黒潮町教育研究会夏期研修会での発表
- 3 児童生徒の健全育成
 - ①生活実態アンケートの分析と活用
 - ・結果については教育研究会夏期研修会で報告
- 4 いじめや不登校、虐待等に関わる調査・援助
 - ①適応指導教室(くじらる一む)への支援
 - ・火曜日の午前中、また、支援員不在の時、研究員はくじらる一むへ出勤
 - ・支援員との情報交換
 - ・SSWは、関係機関との連携を図りながら、学校や家庭、児童生徒の支援にあたる
- 5 学校・家庭・地域・各機関との連携
 - ①関係諸機関との連携
 - ・不登校、いじめ、その他生徒指導上の問題について、関係諸機関(補導センター、くじらる一むなど)と連携し(生徒指導連絡協議会:年3回程度実施)取り組む
 - ・SSWは、関係機関との連携を図りながら、学校や家庭、児童生徒の支援にあたる



「海外研修報告会」お申し込みお待ちしております！



- ◆学校にお知らせがまわっていると思いますが、大方中学校の谷教頭先生が海外研修(カナダと韓国)の報告をして下さいます。カナダの方は、全国で20名(高知県では1名)の中に選ばれた研修でした。めったに聞けない海外の最新の教育事情が聞けますよ。ぜひおいでください。お申し込みは、研究所池上(12月13日)まで！お電話でも(55-3190)FAXでも(55-3850)OKです。

- ・日時: 12月20日(月)15:45～16:45
- ・場所: 保健福祉センター2F(健康研修室)